



朝来市は、自然を活かした観光地として有名です！

あさご暮らしを応援します！

【兵庫県朝来市】【ハローワーク豊岡(和田山分室)】 U I Jターン対策に特化した協定を締結し、 計画的・長期的に連携を進める土台を構築！

【目的】

朝来市は40歳未満の若年者が年々減少傾向にあり、高齢者の割合も平成35年度には40%前後と推計され、U I Jターン対策が喫緊の課題となっている。

このことから、移住相談等において力を持つ市と、全国ネットワークを活用した就職支援に力を持つ国がU I Jターンに特化した協定を締結し、計画的な連携を実施していく。

【実施概要】

1 市長と豊岡安定所長が協定を締結

(協定内容) 市と国の役割分担、相互の連携協力の方法、実施計画の策定、毎月の連絡会議によるPDCA、市内の状況等の情報共有 など

2 移住相談から就職相談までの一連の支援を実施

市のジョブサポあさご(※1)とハローワークが、求職登録を行った者の情報を同意を取った上で共有し、移住相談から就職相談まで一連の流れで支援を実施(※2)。

※1 「移住起業支援事業」、「定着促進事業(新築・購入、リフォーム、引っ越し補助等)」、「空き家活用促進事業」等の移住・定住支援を実施。

※2 ハローワーク豊岡は、求職者の現居住地のハローワーク経由でU I Jターン希望を聴取。メール、電話、来所などで就職相談を実施(必要に応じ朝来市にも連絡)。また、市のジョブサポあさご経由でハローワークにU I Jターン希望者の情報提供がされ、必要な支援を実施。

3 市とハローワークそれぞれの強みを活かした事業所への求人開拓

市の強み：企業進出(新規・増設等)に伴う求人開拓
国の強み：既存事業所に対する求人開拓

4 総力を挙げU I Jターン希望者へ周知

学卒ジョブサポーター等(国)が学校を訪問し、進学者へのアンケートを実施するなど、Uターン希望の把握を実施(アンケート結果は朝来市とも共有)。

⇒ 朝来市・国は、アンケート結果等を踏まえ、大学・短大・専門学校等を中心に学生に対して訪問等で周知(訪問する大学等は事前に調整)。

5 イベント等の連携

市内又は県内中心地で、面接会、説明会、セミナーを共同開催。また、キャリア教育の一環として、中学・高校を対象とした労働法制の説明(国)、職業に関する講義(国)、各種支援事業等の講義(市)を実施。

【効果】

- ◆ 朝来市と国それぞれの情報を共有することで、求人の量・質の向上！
- ◆ 朝来市の定住促進事業により、移住も含めた総合的な支援が可能に！
- ◆ 地方創生を具現化するための若年者世代の定住促進！
- ◆ それぞれが実施するイベント等での連携によるPR効果！

＜朝来市コメント＞

朝来市では、高速道路や鉄道の結節する地理的優位性を活かし、朝来市を生活拠点とした定住促進を推進しており、市が仕事(無料職業紹介)と住まい(空き家バンク等)のワンストップ支援を実施している。今後はハローワークとの連携強化によりU I Jターン希望者の就職と定住を進めたい。

＜労働局コメント＞

U I Jターンは長期的な課題であるため、計画だって取組を進めていくことが重要。その意味で、U I Jターンに特化した協定を締結することは有意義である。

また、この協定により、市との連携が進み、市の強みを把握できるようになった。このことにより、今までにない連携案を考案することができ、「連携強化」が、言葉だけではなく肌で感じられるようになった。